


平成23年度長野県教育センター研修講座10年経験者研修
「共通必修研修 (中・高)」及び「共通必修研修 (小・特)」

3つの視点からみた学級経営の在り方 ～学習指導・生徒指導・特別支援教育～



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2011.8.4～5

秋田県の「3視点」状況

- **学習指導状況 良好(全国学力調査)**

「秋田の子どもは、聴く姿勢が身についている」(沖縄県からの派遣教諭の声)
- **生徒指導状況 良好(生徒指導諸問題調査)**

「決まり、ルールは守ってあたりまえ」、「いつも気をつけている言葉遣い」(子どもの声; 全国平均を超える項目)
- **特別支援教育状況 良好(巡回相談時の印象)**

気になる子どもが溶け込んでいる学級。「専門監、特別支援教育アドバイザー配置」等、充実した行政施策

秋田県の「3視点」は何故良好か

- 学級が子どもにとって「居場所」となっている

↑

Q-U(河村) 結果良好

子どもにとって「居場所」となる学級、すなわち「満足感の高い」学級は、学習指導も生徒指導もともに機能する**教育力**をもつ(河村)

参考:「公立学校の挑戦」

すべての子どもにとっての「居場所」となる学級をつくらう!

あらためて「学級経営」とは

- 学級担任が**学習指導**と**生徒指導**の両面にわたり、その教育機能を十分に発揮できるように、学級における様々な条件整備を行うこと(吉田・大森)


学級担任制(小)であれ、教科担任制(中、高)であれ、学級担任は必ず**学級経営**に携わることになる。

4

具体的な条件整備とは

1. 学級目標づくり
2. **学級づくり**
3. 教室環境づくり
4. 保護者との関係づくり
5. 地域との関係づくり
6. 学級事務

教育のプロとして腕の見せどころ



5

学級づくりの基本

～どの子どもにも居場所となる学級づくり(河村)～

- ルールづくり レポートとの違いは?
- ふれあい(リレーション)づくり

プラグマティズム(実用主義)の薦め

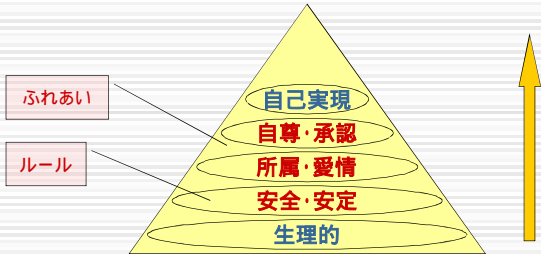
・**使えるもの**は何でも使え
・**役に立つ知識**こそ真の知識

教育のプロとして腕の見せどころ(私ならば)

6

A. マズローの欲求階層説

- 第一欲求（生理的）が満たされると、第二欲求（安全・安定）が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



人とのかかわり不足の子どもたち

- 環境の変化
 - 情報化、スピード化
 - 三間（時間、空間、仲間）の消失
 - 核家族化 等

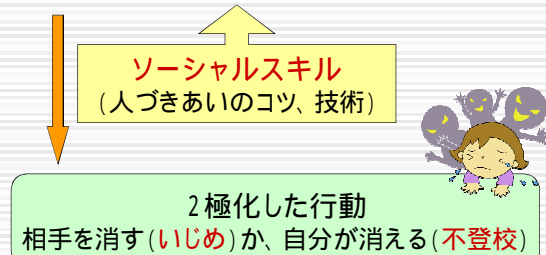
昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

かかわり場面で時々「オニの心」(曾山)が

自分勝手な振る舞い、わがままな行為 他⁸

人とのかかわり不足が生む問題 1

- 子どもたちの社会性が弱まっている



通常学級における気になる子の問題がクローズアップ⁹

人とのかかわり不足が生む問題 2

- 子どもたちの自尊心が低下している

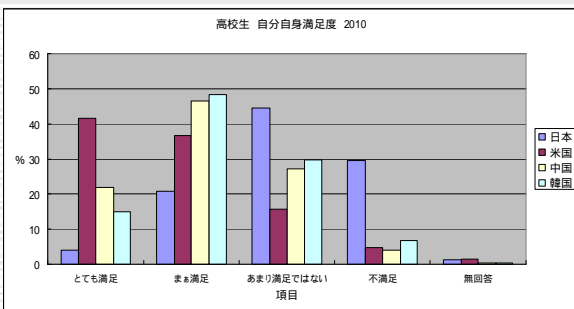


自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

これもいじめ、不登校、気になる子の問題に影響¹⁰

日本の高校生の自尊心は？ 1

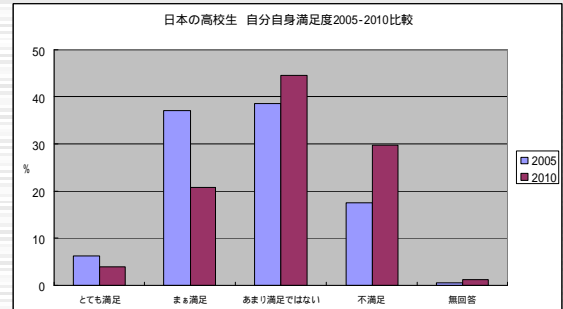
炭鉱のカナリア現象
子どもがカナリアのように鳴いている



日本青少年研究所「高校生の心と体の健康に関する調査」¹¹

日本の高校生の自尊心は？ 2

5年前に比べ、さらに低下



日本青少年研究所「高校生の心と体の健康に関する調査」¹²

現代の子ども像と支援の基本方策


人とのかわり不足により、ソーシャルスキル、自尊心が低い(ルールを守る・ふれあうことが苦手な)子どもたち

↓

グループ体験を用意する
「人は人の中で人になる」

対人関係のコツ(技)を身につけ、自分に「OK!」
と言えるようになる

気になる子には、体験の機会をより多く



13

気になる子の理解 ～知らないでは済まされない!～

- 気になる子の指導・支援を行う際に、障害特性、家庭環境等、**気になる子**の理解は欠かせない

文部科学省調査(2002)では6.3%

- ・レッサーバング帽青年事件(2001)・同級生女兒事件(2004)
- ・エリート少年自宅放火事件(2006)等、発達障害関連事件

・IQ136の少年は「**広汎性発達障害(PDD)**」と精神鑑定
・**父親の叱責が恐ろしくて自宅に放火**

障害が問題や事件を起こすのではなく、周囲の理解・対応の
不十分さが問題や事件の呼び水に

14

気になる子の理解 ～学んだ二つの言葉～

- 気になる子の理解に関して、忘れられない二つの言葉がある

・うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子どものことは**理解してほしかった**。(ある保護者)

・教師は専門家である。教育を行う者が、教育を行う子どもについて**無知のまま教壇に立つことは、子どもに失礼極まりない**。(杉山)

せめてD.ウィリアムズ等の自伝を読んでほしい

5

発達障害とは;特徴及び主な障害

- 先天的
- 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
- 生涯に渡る

基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

精神遅滞;認知の側面

脳性麻痺、筋ジストロフィーなど;運動の側面

発達性協調運動障害;手先の細かな動きの側面

LD、ADHD、高機能PDD等

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」

LD(学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD;言語理解、表出、読み、書きの困難
非言語性LD;空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント～スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

17

LDへの基本対応

例;読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり、正しく読めるようになった

教科支援の基本;該当学年より2～3学年下げた内容を!

18

教室でできる特別支援教育

～担任の構え;個への深入りをせず、配慮をする～

担任は全ての子にとって「僕(私)の先生」

40人の子と大きな道を歩く

脇道にそれる子どももいる

立ち止まるが、脇道には入らない

いつでも戻れる居場所の確保

「それ方」の程度により校内体制(支援員等)が必要

脇道には深入りせずに!

一斉指導における個への配慮(諸準備等)例

学習面

- ・学習レベルに合わせたプリント準備(2,3学年下げた内容等)

行動面

- ・時々、立ち歩く程度は目をつむる
- ・学習、対人ルールを掲示する(ルール違反の時には非言語メッセージを送る)

対象児を馬鹿にする、えこひいきと反発する場合もあるため、学習や行動の「練習」であること等、他児への説明は必要。また、後の対象児保護者トラブルを防ぐため、保護者面談も必要。

「やや深入り」せざるを得ない場合の他児への課題も準備しておく

ソーシャルスキル&自尊感情育成のための具体的アプローチ

1. SST(ソーシャルスキル・トレーニング)やSGE(エンカウンター)を活用する
2. カウンセリング理論による**伝わる言葉**をかける
 - 東の横綱;「いいところ探し」
 - 西の横綱;「対決アイメッセージ」
 - 東の大関;「リフレーミング」
 - 西の大関;「例外探し」

「伝わる言葉の番付表」!

27

言葉かけをチェック!

～大人の言葉は子どもに届いているか?～

私たち大人(親・教師)の言葉は子どものソーシャルスキルや自尊感情を育てているのか?

<次の場面では、どんな言葉をかけますか?>

- ・授業中、おしゃべり(私語)をしている子どもには?
- ・言われなくてもゴミを拾ってくれた子どもには?

28

東の横綱

「いいところ探し」

いつでもどこでも
リソース(資源)、リソース!!

「褒める・勇気づける・認める」をバランスよく!

<いいところを誤解した!?!>
ある担任の先生から、気になる子への支援相談を受けていたときのエピソード。
・「A君のいいところはどこですか?」(私)
・「ひん(担任)」

すべての子どもが「グローブ」を持っている

ソーシャルスキル&自尊感情に効く

29

西の横綱

「対決アイメッセージ」

私語対策に

行動

相手の行動を非難がましくなく描写する

影響

相手の行動が自分に与える影響を伝える

感情

その影響が自分に抱かせる感情を伝える

ソーシャルスキルに効く

東の大関 「リフレーミング」

先生方は得意！

「人生、考え方一つ」(元バレー選手の言葉)

1. 飽きっぽい
2. おしゃべり
3. おせっかい

考え方次第で悩みは消える(論理療法 by エリス)

自尊感情に効く

31

西の大関 「例外探し」

是非お試しを！

うまくやれていること(例外)はきっとある！

暴言が多い(問題) → 丁寧な言葉を使うこともある(例外)

例外の責任追及
なぜ、例外が起きたのかを心に貯めておくことで、声をかけられる

自尊感情に効く

32

おわりに

1. **新たな視座で実践更新を**(前田)
2. 情熱だけでは難しいことがある
技が必要(鹿嶋)
3. 一つだけでは多すぎる(外山)
4. 「アンテナ」を2本立てる
「ルール違反 & 遵守」の両方を見逃さずに
5. 最強・最高の教材は教師自身

実践に、書物に
お互いに学びましょう！

33

主な参考・引用文献

- 「特別支援教育のための精神・神経医学」、杉山登志郎・原仁、学研
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために」、杉山登志郎、学研
- 「叱らないつけ」、親野智可等、PHP
- 「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U実施・解釈ハンドブック」、河村茂雄、図書文化
- 「データが語る 学校の課題」、河村茂雄、図書文化
- 「グループ体験による学級育成プログラム」、河村茂雄、図書文化
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「自閉症だったわたしへ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「我、自閉症に生まれて」、テンブル、グランディン、学研
- 「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」、黒沢幸子、金子書房
- 「思考の整理学」、外山滋比古、ちくま文庫
- 「教師の実践する力を鍛える」、前田勝洋、黎明書房
- 「僕はパパを殺すことに決めた」、草薙厚子、講談社
- 「気になる子への対応術」、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキルトレーニング」、曾山和彦、明治図書

ホームページ「学校におけるカウンセリングを考える会」

34